

いよいよ総選挙！

補正予算（衆議院議員選挙経費）可決

根室市議会は10月4日（金）、緊急議会を開き、衆議院議員選挙経費に係る補正予算案を全会一致で可決しました。

本年度第4号となる補正予算は、全て衆議院議員選挙に係るもので、総額3千6百万円です。

主な内訳は、ポスター掲示板設置及び撤去工事に770万、投票管理者・立会人、開票管理者・立会人等への報酬として総額698万9千円、開票作業などにあたる市職員手当等として総額352万6千円などです。

これに係る財源は、衆議院議員選挙費委託金として全額北海道からの支出でまかなわれ、市の支出はありません。

補正予算の成立を受け、市内には衆議院小選挙区北海道7区の候補者用ポスター掲示板が設置されています。9日衆議院解散、そして15日公示、27日投開票の予定で選挙

戦となります。

総選挙は投票が2回あります。1回目は候補者名を書く小選挙区の投票。2回目は日本共産党など、政党名を書く比例代表選挙です。人名など、政党名以外の記入は無効となりますのでご注意ください。あわせて今回は、最高裁判所裁判官国民審査の投票もあります。

物価高騰、政治とカネ、平和など、私たちの日常、そして日本の行方を左右する重要な選挙です。権利を無駄にすることなく、必ず投票しましょう。

お知らせ

選挙期間中の市議団ニュースはお休みさせていただきます。ご了承ください。

はたやま和也「かけある記」

必ず国会へ

2024年10月7日



日本共産党元衆議院議員 はたやま和也

自公政権に、もう任せるわけにはいかない。道内をまわって痛感する日々でした。

「米が買えないので、子どもの弁当にイモを入れました。」まるで戦時中です。「孫の学費・生活費に、年金から月8万円を出している。」学生も親も高齢者も、これほど苦しまないと学べない日本ではないのか。

「夫が帰宅して食事・仮眠したら、また職場へ行き帰宅は深夜」「正社員なのに、妊娠したら『休みが必要でしょう』とパートにされた。」こんな働かせ方や、女性というだけで受ける差別が広く残されています。

訪問介護の事業者がゼロの市町村は12、1つしかない市町村は70。鉄道もバス路線も廃止のうえ、JR運賃は大幅値上げ。石破首相は所信表明で「若者・女性に選ばれる地方を」と述べましたが、地域切り捨てを進めてきたのは自民党政治だったのではないか。

「戦争する国づくり」も進められるなか、立憲民主党が安保法制Ⅱ戦争法の存続に道をひらく態度で、大軍拡を食い止める力になれるのでしょうか。日本共産党の議席があつてこそ、市民と野党の共闘でも新しい発展の流れがひらかれます。日本共産党の議席は、これだけの願いが詰まった議席です。だから国会で揺らぐことなく、一步も引かない質問ができます。カネと利権の力で動く政治を変えたい。国民の声で動く日本共産党が躍進してこそと、堂々と訴えていきたい。いよいよ総選挙。「比例は日本共産党」を広げに広げ、必ず国会へ戻ります。